

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1225号	氏名	山下 秀樹
論文審査担当者		主査教授	小路 武彦
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	近藤 宇史
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>学位論文題名 「Inhaled nitric oxide attenuates apoptosis in ischemia-reperfusion injury of the rabbit lung」</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、様々な臨床場面で惹起される肺虚血再灌流障害へのアポトーシスの関与とそれらへの一酸化窒素(NO)吸入の効果をウサギモデルで検討したもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 先ず日本白ウサギの左肺虚血再灌流モデルの作成法を確立した後、30羽のウサギを sham 群(2時間開胸のみ)、control 群(2時間虚血後再灌流)並びに NO inhalation 群(2時間虚血後、NO 吸入下で再灌流)に3分割し、経時的に肺動脈圧測定及び動脈血ガス分析を行い、灌流後2時間で屠殺し、肺湿乾重量比測定や組織学的評価を行った。更に、他の20羽のウサギを用いて同じく経時的に組織を採取し、TUNEL 等の組織化学的評価を行っており、研究手法も妥当であると思われる。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、NO 吸入により有意に種々の肺虚血再灌流障害パラメーターが改善することを明らかにし、また肺虚血再灌流障害に対するアポトーシスの関与とそのNOによる阻害も明確に示した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は肺虚血再灌流障害の治療及びその機構解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			